

『明日の風』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、

地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に6回程度の発行を予定しています。

【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHP からご覧いただけます。

URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/index.html> 】

富士・東部教育事務所地域教育支援スタッフでは、

(1) 家庭、学校、地域の連携による地域ぐるみの教育活動の活性化を図る。

(2) 地域における体験活動・ボランティア活動の環境を整備し、地域教育力の活性化を図る。

を目標に掲げ、地域の教育力を高めるためのコーディネーターとして、家庭・学校・地域社会がお互いに連携を深め、青少年の健全育成のため活動しております。

まちづくりは人づくり、地域の子どもは地域で育てる !!

地域教育 明日の風 第2回理事会

北都留地域教育推進連絡協議会（会長：石井由己雄大月市長）は、平成29年11月24日（金）に北都留教育会館において「平成29年度第2回理事会・事務局・事業推進委員会議」を開催しました。

会議では、まず今年度の事業と会計の中間報告が事業推進委員長および事務局長より報告されました。事業の中間報告では、「明日の風 総会・教育講演会」「伊藤知治教士八段剣道教室」「帝京科学の夏まつり」等、これまでの取り組みの具体的な内容、アンケートの調査結果、反省点および来年度への課題等についての説明がありました。その中で、「17年間の活動によって各事業の卒業生が、先生として参加している。」との報告もありました。

会計の中間報告では、これまでの会計執行状況の説明がありました。また、平成30年度法令外負担金の申請について事務局より提案があり、提案通り承認されました。参加者からは、「2020年までに明日の風として根付いてきた事業を確認し、何を財産として引き継いでいくか検討をしていく必要がある。」等の意見が出されました。

次に、平成30年度の定期総会等の日程については、例年通り理事会を6月中・下旬に、総会は7月上・中旬の開催を軸に今後調整することとなりました。最後に、平成29年度の今後の予定についての確認がされ、「平成29年度第2回理事会・事務局・事業推進委員会議」は終了しました。



第16回 花の里 北都留 !!

一人一花運動 フォトライブラリー展

みんなで、花いっぱい北都留に !!



「家庭で、学校で、地域で花を育て、花いっぱいの北都留にしましょう。花を育て、子どもたちの豊かな心を育てていきましょう。そして次代を担う子どもたちが健やかに成長するように豊かな心を育てましょう。」

北都留地域教育推進連絡協議会（会長：石井由己雄大月市長）では、子どもたちが未来に向かって「夢」や「希望」を持ちながら生きていくことが出来るように、地域の教育力向上を意図する「地域教育 明日の風」の活動の一環として「一人一花運動」を進めてきました。4月に北都留地区の全ての幼・保・小・中・高・支・大および主な構成団体と、

小学3年生、保育所(園)・幼稚園の年長児全員に花の種約2,000袋を配付して、花が咲き、潤いのある環境づくりに取り組んできました。

配付された花の種は、各地でこころを込めて育てられ、今年も多くのきれいな花を咲かせました。その様子を収めた写真展『フォトライブラリー展』が、平成29年11月8日(水)から12月15日(金)まで、北都留教育会館で開催されました。

今年も多くの保育所(園)・幼稚園・各学校から応募があり、教育会館はたくさんの花と子どもたちの笑顔に満ちあふれていました。

Dream Come True 「夢の実現」

第17回 小林雅英コーチ野球教室



北都留地域教育推進連絡協議会（会長：石井由己雄大月市長）では、平成29年12月9日(土)に上野原市桂川野球場において、大月市真木出身、元大リーガーで、現千葉ロッテマリーンズの小林雅英投手コーチによる野球教室を開催しました。今年で17回目となる同教室には、大月市・上野原市のスポーツ少年団の児童や中学校の野球部の生徒など約150名が参加。

午前中は、各年代別に4つのグループに分かれてキャッチボールやバッティングを行ったり、小林コーチのノックを受けたりしました。練習の途中には小林コーチのサイン入りユニフォーム・帽子がプレゼントされました。お昼には、各チームのコーチ・顧問との懇談会も和やかな雰囲気の中で開催されました。

また、午後からは各チームのピッチャーを対象に指導が行われ、選手達の投球フォームの一つ一つを細かくチェックし、「ゆったり大きなフォームで」「顔が揺れないように」などと丁寧に個別指導をして頂きました。小林コーチからは「今日は、一人一人にあったアドバイスをしました。しっかりその事に気をつけて、来年も会えるように野球を続けて下さい。」と参加した選手達にお話がありました。参加した選手からは、「憧れの人に指導してもらえてうれしい。教えてもらったことを今後の練習でも意識して、上手になりたい。」などの感想が寄せられました。とても充実した一日となりました。

地域の青少年支援を目指すネットワークづくり！！ 南北都留教育相談ネットワーク会議



南都留教育相談ネットワーク会議は、「青少年の育成にかかわる、教師やカウンセラー、児童相談所・教育相談所の職員等が、それぞれの経験や専門性を生かしながら情報や技術を共有し合い、連携して学習会や相談活動・情報提供・研究活動を行い、公正中立な立場でのより効果的な地域の青少年支援」を目指し、平成13年度に設立されました。参加団体が南北都留となっていることから今年度より南北都留教育相談ネットワーク会議(会長：堀内悦朗都留児童相談所所長)となりました。

南北都留地域教育推進連絡協議会では、7月5日(水)に本年度第1回の会議を南都留合同庁舎大会議室において開催し、活動計画等

について話し合いました。その後、富士吉田市立教育研修所からの実践発表をもとに、研究協議が行われ、活発な意見交換や情報交換がなされました。

第2回は、12月6日(水)に開催。今回は、都留市教育研修センターと、上野原市立教育委員会教育支援室からの実践発表をもとに、研究協議が行われました。

上野原市立教育委員会教育支援室の実践発表では、支援室での業務説明につづいて、就学支援の具体的な例を用いて、保護者や就学児に寄り添って丁寧に支援していくことの大切さが話されました。都留市教育研修センターからは、センターでの業務説明の後、研修センターが間に入り、学校と学校カウンセラー、児童相談所、福祉等の専門機関、医療機関などと連携し、きめ細かく取り組むことで成果があがっていることが話されました。その後、熱心に話し合いが進められました。本会議を通して、子どもたちを取り巻く様々な問題についての実態や課題の情報交換と子どもたちの居場所づくりの重要性が再確認されました。第3回は2月7日(水)に開催の予定です。

地域の実態にあった中・高の効果的な連携を探る！！ 生徒の健全育成をめざす中・高連携連絡会議



「生徒の健全育成をめざす中・高連携連絡会議」は、旧都留学区の都留市・西桂町の実態にあった中学教育と高校教育の効果的な連携を探るとともに、一層の理解と推進を図り具体的な取り組みを検討することを目的に、平成13年度から始めました。同会議では「各学校の情報交換、現在抱えている問題点や取り組み等の報告」と、「将来的なビジョンの検討、人的交流の推進、相互理解と相互連携協力事業の開拓」について話し合われます。

南都留地域推進連絡協議会(会長：野木忠一東桂小学校長)では、5月27日(金)に都留興譲館高校にて各学校の校長による本年度第1回の会議を開催しました。会議では、各学校の現状・課題・取り組み、及び意見交換が行われ、特に、授業や部活動の連携事業について活発な意見交換がなされました。11月29日(火)には第2回を開催。前回までの会議報告につづき、各学校の取り組みや現状と課題について報告がされました。各学校の少子化に伴う生徒への対応などが話題として取り上げられ、各校の状況や取り組み・対応について情報交換を行いました。



児童生徒連絡協議会の取り組み !! 各地区の『首長さんと話す会』

【富士吉田市 市長さんと話す会】

富士吉田市児生連では、10月31日(火)に富士吉田市民会館小ホールにおいて、第45回「市長さんと話す会」を開催しました。富士吉田市内の小中学生と近隣の高校生ら約48名が参加。「澄んでいる富士山 住んでいる富士吉田」をテーマに、「同じ富士吉田市に住む児童・生徒として絆を深めること」「富士吉田市民として自覚を持ちながら、より良い街を創造していくこと」について、市長さんをはじめ市役所各課代表の方々と交えて、意見交換が行われました。参加した児童・生徒達は、この会を通して、自分の住む富士吉田市についてさらに深く考え、地域の活動への積極的な参加が必要であることを確認しあいました。最後に市長さんからは、市政や市民に対する熱い思いが話されました。



【富士河口湖町 町長さんと語る会】

富士河口湖町児生連では、10月30日(月)に富士河口湖町役場において、「町長さんと語る会」を開催しました。当日は、各学校の児童会・生徒会代表者ら約50名が参加。「アイスブレイク」で緊張をほぐした後は、「ひとを優しくつなぐ 世界に誇る ふじのまち～私たちにできることから地域へ～」をテーマに活発なグループ討議が行われました。討議で話し合われたことがグループごとに発表されると、参加者は興味深く耳を傾けていました。その後、児童・生徒からの意見の共有とまとめがされ、町長さんから参加者に、「町を好きになってもらい、将来は町のために活躍する大人になってほしい」とのメッセージをいただきました。



【都留市 都留リーダーサミット】

都留市児生連では、11月16日(木)に都留市消防署会議室において、「都留リーダーサミット」を開催しました。当日は、都留市内の小中高等学校の児童会・生徒会代表者ら約36名が参加。「つながり～わたしたちの住む都留市～」のテーマにもとづき、「都留市の魅力をつなげていくためにできること」について話し合いが進められました。3グループに分かれての熟議では、各グループにアドバイザーやファシリテーターも加わり、質問やアドバイスをして討議を盛り上げていました。最後に話し合いの結果をまとめて、各校に持ち帰り、今後の校内活動に生かすことが確認されました。



少ない薪でも火力が強い!調理器具を作ろう!! シオジ森の学校 ロケットストーブ作り&ランチ



シオジ森の学校(下澤直幸校長)は、水下ベニア商会作業場で11月17日(金)・19日(日)の両日、「ロケットストーブ作り&ランチ」を開催しました。2日間で8組の家族が参加。

「ロケットストーブ」は燃焼効率が極めて高く、少ない薪でも火力が強く、しかも手軽で安全な調理器具であるため、非常時にも役立つと言われていいます。「ロケットストーブ」という名前は、熱を送りだす部分がロケットの噴射口に似ているところからついたそうです。そのすぐれた熱効率から、「エコストーブ」の名前でも呼ばれています。

2日目の11月19日(日)には、4組の家族とスタッフあわせて11名が参加。初めにスタッフからの説明があり、その後、工具を使っての作業となりました。初めての経験に少々戸惑いがありましたが、どの家族も協力し合いながら、それぞれのペースでロケットストーブを作製しました。午前中にはほとんどの家族が完成し、昼食はロケットストーブで炊いたご飯を全員で食べながら、午前中の作業や「シオジの森」の様子についての話がはずみました。参加者は、「自宅に帰ったら、早速、ロケットストーブを使ってみよう。もう一つ作りたい。」などと話していました。

日々の学習成果を発表 !!

上野原高等学校 第7回総合学科発表会

県立上野原高等学校(小川弘一校長)では、生徒一人一人のキャリア教育に対応した「ドリカム=システム」を実践しています。同校総合学科の特色は、「科目群」という考え方を採用し、生徒一人一人が描く多様な夢の実現をサポートする点にあり、生徒は様々な体験を通して、自らの夢を見つけ、育み、実現を目指しています。

12月16日(土)に今年度の取り組みを発表する第7回総合学科発表会が教育関係者、地元や近隣の中学生、保護者、同校生徒らが出席して、体育館や武道場で開催されました。生徒が考えた、「**叡知創造のもとに・・・上高生の力が今試される**」のテーマで、学習の成果がわかりやすく表現され、プレゼンテーション力も高く、参加者は各発表に熱心に聞き入っていました。当日の発表内容は次のとおりです。



【総合学科の紹介】

【発表Ⅰ】1年次：「ドリームスピーチ」

将来の夢を見つけるために、「職業人講話」「職場見学」「大学訪問」「適性検査」等を行い、見つけた夢を発表。

【発表Ⅱ】2年次：「課題学習」「震災の地・神戸を訪れて」「原爆と医療団」

【発表Ⅲ】家庭クラブ：「上野原産キヌアを広めよう！」

今年度の県芸術文化祭で最優秀賞を受賞！

【卒業生からのメッセージ】 夢を実現させた総合学科卒業生からのメッセージ。

【ポスターセッション】 1・2・3年次、科学部による発表。

【グローバルスタディーズ】 上野原市のPR動画を英語で作成。

【発表Ⅳ】3年次：「課題研究」「今までの地震・これからの地震」

「後発発展途上国の子供の現状」「**こころ と 心**」

【全校合唱】

上野原高校校歌を混声合唱で披露。美しい歌声に会場は感動の渦に包まれていました。



弁護士出前授業 東桂中学校・西桂小学校

【東桂中学校 模擬裁判】

山梨弁護士会では、各学校に出向き、弁護士会等が作成した教材を活用して、児童・生徒が主体となって、身近な事案を素材にして問題の解決方法等を考える授業を行っています。10月23日(月)には、東桂中学校(白井明彦校長)で法教育授業を開催しました。この日は2年生の54名が参加し、つる法律事務所の中野宏典弁護士と堀内賢人弁護士が、模擬裁判「DVD窃盗被告事件」を実施しました。初めに弁護士の職務についての説明があり、その中で「今日の授業で、話し合いのやり方を学んでほしい。そうすることによってトラブルを上手に解決する術を身につけてほしい。」との話がありました。次に、生徒による模擬裁判が実演され、裁判後には各グループに分かれ、一人ひとり意見を述べ、活発に議論がされました。その後、話し合いの結果を発表し、白熱した全体討論が行われ問題解決に取り組んでいました。主体的・対話的で学びの深い授業でした。



【西桂小学校 いじめ予防授業】

11月29日(水)には、「いじめ予防授業」を西桂小学校(宮下賢治校長)でつる法律事務所の堀内賢人弁護士が実施しました。この日は6年生の39名が参加。最初に、「人権(安心・自信・自由)を護ることが弁護士の仕事であり、いじめは人権侵害である。」との話がありました。次に、「いじめとは」「いじめる側といじめられる側の意識の違い」について、積極的に意見が出され、参加者は熱心に聞き入り、いじめについての理解を深めていました。その後、具体的ないじめの事例から、どうしたらいじめを止められるか、できることは何かなどを話し合い、互いを尊重する基本的人権の考え方を学びました。意見交換が活発に行われ、中身の濃い授業になりました。



共に学び合い、共に理解し合う!!

富士北稜高等学校・ふじざくら支援学校交流会



富士北稜高等学校(渡邊信介校長)と、ふじざくら支援学校(下倉史彦校長)では、もの作りなどの作業を通してお互いの理解を深めるとともに、共に助け合い、支え合っていく豊かな人間性を培うことを目的に、年間2回の交流会を実施しています。今年で14年目を迎えた交流会は、両校の生徒がお互いの校舎を行き来する形で、体験学習を実施しています。

毎年、1回目の交流はふじざくら支援学校で行われます。11月16日(木)には、今年度2回目の交流会が富士北稜高校で開催されました。当日は、ふじざくら支援学校から高等部の生徒46名、富士北稜高校から各系列とボランティア委員の生徒51名、合わせて97名の生徒が参加。富士北稜高校の生徒がふじざくら支援学校の生徒を出迎え、はまなしホールではじめの会から交流が始まりました。その後、「ネームプレートづくり」「木工」「手作りハガキ体験」「アートフラワー」の4つの班に分かれて活動を行いました。両校の生徒が2~3人一組となって、とても和気あいあいとした雰囲気の中で、各作業に熱心に取り組んでいました。完成させた作品は、ふじざくら支援学校の参加者へのお土産としてプレゼントされました。笑顔での活動を終え、お互いの交流を深めていました。



保小連携 1年生が年長さんを招待!!

河口保育所・河口小学校

やきいもパーティー



河口保育所(窪田栄子所長)と河口小学校(渡邊信校長)は、10月26日(木)に1年生と年長さんが一緒に掘った、さつまいもを使った、「やきいもパーティー」を河口小学校において開催しました。当日は、1年生11名が事前に計画・準備した「楽しいお店」に、年長児17名を招待。お店では遠足で取ってきた、どんぐりを使った「どんぐり音楽隊」「どんぐり釣り堀」「どんぐりけん玉」「ボーリング」の手作りゲームを楽しみました。

やきいもパーティーでは、学校の藁を使って焼き上げ、ペアを組んで食べました。みんな大満足の顔をしながら、お芋をおいしそうに頬張っていました。

今回の体験を通して、1年生は友達と協力し合うことで入学から今までの成長を実感し、年長さんは、学校の様子を知ること、入学への期待が膨らみました。また、ものをつくる楽しさや食べ物大切さを学ぶこともできたようです。



地域の皆様のご支援ご協力を得ながら、実りある実践となるよう努めて参ります。各事業についてご意見ご要望がありましたら、地域教育支援スタッフまでご連絡ください。

※連絡先 富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ 0554-45-7841